

精神看護学特論

[講義] 1年 前期 選択 30時間 2単位

《担当者名》○八木こずえ [co-yagi0913@hoku-iryu-u.ac.jp]
宮地善子 [miyajih@hoku-iryu-u.ac.jp]
中安降志 [nakayasu@hoku-iryu-u.ac.jp]

【概要】

精神看護の代表的な看護理論や病態や障害の特徴に応じて適用される諸理論を理解し、精神保健上のニーズを満たすための援助技法を学ぶ

【学修目標】

1. 臨床場面で遭遇しやすい精神病態や障害の援助に役立つ理論的基盤を理解する。
2. 対象者の全体像を描き、精神保健福祉上の問題を理論を用いて説明する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	精神看護学と援助理論	1) 精神看護で活用される援助理論を概観し、背景や全体像を理解する。 2) 代表的な理論として、ペプロウ、トラベルビーの対人関係モデルの意義や臨床活用について学ぶ	八木
3) 4	心理・社会的成長発達や自我、自己に関する理論	1) 人格形成に影響を与える理論として、フロイトやエリクソン、マラーの諸説を学ぶ。 2) 自我や自己に関する理論、コフォートの理論について学ぶ	八木
5) 6	精神力動理論と脆弱性ストレス対処モデルに関する理論	1) 精神力動論による心的エネルギーのメカニズムとベラックの提唱による自我の機能、防衛機制について学ぶ	宮地
7) 8	オレム・アンダーウッドモデル	オレム・アンダーウッドモデルの成り立ちと意義、セルフケアアセスメントの実際を学ぶ。	宮地
9) 10	集団および家族に関する理論	1) 集団に関する理論とグループへの介入方法、注意点を学ぶ。 2) 家族を支援するために必要な諸理論を学ぶ。	中安
11) 12	認知行動に関する理論	認知行動療法の基礎となる理論的背景や意義、実際のアセスメントや臨床活用の実際について学ぶ。	八木
13	統合失調症の看護理論 1) 阿保の精神構モデル	1) 統合失調症の病態に沿った看護介入を導く精神構造モデルを理解する。	中安
14	2) 回復過程と看護介入の方法	2) 回復過程の特徴を理解し、アセスメントの指針を学ぶ。回復に応じた看護介入について理解できる。	中安
15	3) 事例による看護モデルの理解	3) 精神構造モデルを用いた事例をプレゼンテーションし、アセスメントと援助を議論して考察を深める。	中安

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

プレゼンテーション（30%）、討議への参加（30%）、課題レポート（40%）で評価する。

【教科書】

指定しない。適宜資料を配布する。

【参考書】

- 1、 宇佐美しおり・野末聖香編集:精神看護スペシャリストに必要な理論と技法.日本看護協会出版会.2009.
 - 2、 筒井真優美:看護理論家の業績と理論評価.医学書院.2015.
 - 3、 阿保順子:精神科看護の方法 患者理解と実践の手がかり.医学書院.1996.
 - 4、 阿保順子:急性期統合失調症マニュアル.すびか書房.2004.
 - 5、 阿保順子編著:精神科救急・急性期ケア.精神看護出版.2011.
 - 6、 中久喜雅文:力動的精神療法入門.岩崎学術出版社.2014.
 - 7、 松木邦裕:対象関係論的心理療法入門.金剛出版.2016.
- その他随時提示する。

【学修の準備】

講義内容の理解を深めるために、精神看護に関連の深い看護理論について、関連する文献を事前に読んで準備をする。統合失調症の精神構造論の理解を深めるために事例分析を行うので、プレゼンテーションの準備を行う。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

八木こずえ（看護師・精神看護専門看護師）
宮地普子（看護師）
中安降志（看護師・精神看護専門看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

教員それぞれの実践経験と教育の実務・研究の反映した講義内容となっている。